

みしのたくかにと

「絵本とわらべうたの会」2024年度⑨

日時 1月21日(火) 10:00~11:00
場所 西公民館 1階 集会室

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。赤ちゃんもお母さんのうた声と一緒にゆっくり身体をゆずられて楽しめます。絵本の読み聞かせもあります。

必要な方は敷物やバスタオルをご用意ください。

市民読書サポーターのいる日程 1月

市立中央 図書館 (10~12時)	11日(土)	18日(土)
	25日(土)	
西公民館	21日(火)	10:30~11:30

おはなしはハラハラドキドキ！保育園での読み聞かせ

ある保育園の4歳児に絵本『しょうぼうじどうしゃじぶた』『ゆきのひ』を読み、その後、グリムの昔話「赤ずきん」を語りました。どの子も始めから集中して聞いてくれていたのですが、おばあさんになりすましたオオカミが赤ずきんを食べようとする場面でのやりとりの途中で、前列にいたひとりの男の子が「もういい…」と言って一気に後ろにいた先生の背中に隠れてしまいました。でも、先生の肩の後ろから大きく見開いた目がしっかりおはなしを聞いているようでした。緊迫感のあるこのおはなしに、幼い子はハラハラドキドキするでしょうが、慣れ親しんだ大人がそばにすることで、少しこわいおはなしでも安心して聞けるのですね。これからも、昔話の楽しさが子どもたちの心に届くことを願っています。

おしまいに、わらべうた「♪トーキョートニホンバシ」「♪さよならあんころもち」をしたのですが、隠れていた男の子が一番前に出てきてクラスの子と一緒に楽しそうにわらべうたを歌っていました。最後は安心して終わることができました。

(市民読書サポーター 遠藤恵子)



『しょうぼうじどうしゃじぶた』
福音館書店



『ゆきのひ』 偕成社

赤ちゃん絵本の紹介



ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ いん/え
いしいもこ やく
福音館書店

オランダのデザイナーのブルーナによる小型の絵本。うさぎの夫婦のふわふわさんとふわおくさんのところに天使がやってきて、赤ちゃんができますよ、と知らせる。うまれてきたのがうさこちゃん。動物たちがあちこちからお祝いにやってくる。

他に、『うさこちゃんとうみ』『うさこちゃんどうぶつえん』『ゆきのひのうさこちゃん』などがある。いずれも少し経験が増え、物語の入り口にたつ2,3歳から出会う絵本。訳文にリズム感があり、耳からも目からも楽しめる。



かぼくん

岸田衿子 さく
中谷千代子 え
福音館書店

男の子がかめの子を連れて動物園にやってきた。ねぼすけなかぼのとぼけた顔、かぼの子やかめの子と水中をのんびり泳ぐ様子、大きな口をあけてキャベツを丸ごと食べる迫力のある場面、おなかがいっぱいになって寝ている姿など、ある日曜日の日が描かれている。ページをめくるごとに出てくるかぼに子どもたちは親しみをを感じる。かぼの、のんきでユーモラスな表情が楽しい。

裏面もご覧ください